

<新型コロナウイルスの各種検査について>

■ 今、感染しているのかを知るための検査

渡航目的や症状は無いまたは軽いが心配な時 : 自費診療
症状があり、医師が必要と判断する場合 : 保険診療 となります。

<検査方法>

① PCR 検査 (自費 20000 円 / 保険診療 検査代は公費負担)

ウイルス遺伝子の一部を増やすことでウイルスが体内にいるかを判定する検査です。
結果が出るまでに 2-3 日かかりますが、最も感度が高い方法です。

- ◆ 『唾液 PCR』 : プラスチックケースに唾液を 1-2ml 取ります
安全に簡単に検体を採取できるメリットが大きく、唾液採取が可能な方が対象となります。発症後 9 日までに検査することが求められます。
- ◆ 『鼻咽頭ぬぐい液 PCR』 : 鼻やのどの奥の粘液を綿棒で取ります
飛沫感染リスクがあるため、しっかりとした感染防護対策を行い検査します。唾液採取が難しい方(主に乳幼児)が対象です。

② 抗原検査

鼻やのどの奥の粘液を綿棒でこする、インフルエンザの迅速検査と同じ方法です。
ウイルス検出感度が若干低い可能性はありますが、PCR と一致率は高い検査です。
メリットとして短時間(30 分ほど)で結果が出るのが特徴です。

■ 過去に感染しているかの検査 : 抗体検査 (自費 10000 円)

体内にウイルスが侵入してきたときに免疫反応によって数日~2 週間程度で生成される抗体を検出する検査です。15-20 分程度で結果が得られる迅速キットや、分析に数日かかる定量検査などがあります。